

研究・調査報告書

報告書番号	担当
330	独立行政法人酒類総合研究所
題名 (原題/訳)	
Association between job stressors and heavy drinking: age differences in male Japanese workers. 仕事によるストレスと大量飲酒の関連：男性日本人労働者における年齢差	
執筆者	
Hiro H, Kawakami N, Tanaka K, Nakamura K; Japan Work Stress and Health Cohort Study Group.	
掲載誌 (番号又は発行年月日)	
Ind Health. 2007 Jun;45(3):415-25.	
キーワード	
飲酒、ストレス、仕事	
要 旨	
<p>本研究では、異なる年齢層の男性日本人労働者における仕事によるストレスと大量飲酒の関連を調べた。一般的な職務ストレス質問票を用い、13の職業ストレスと2つの職場支援の指標について調べた。25,104名について質問票を用いた調査を行い、そのうち17,501名の男性労働者についてのデータを解析した。1週間あたりのアルコール消費量が275g以上の場合を大量飲酒としたところ、合計1,131名(6.5%にあたる)が大量飲酒者であった。交代制勤務、職業分類、配偶者の有無や喫煙状況で補正後、18-29歳、50-72歳のグループにおいて、大量飲酒は上司からの支援状況と関連が見られた。30-39歳のグループでは、大量飲酒はグループ間での対立、仕事の制御、認識要求と関連が見られた。40-49歳のグループにおいて、大量飲酒は身体環境、仕事量、未利用の能力と関連が見られた。以上より、仕事によるストレス要因で大量飲酒と関連が見られるものがあり、この要因が年齢間で異なることが明らかになった。</p>	